



2019年9月19日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社
 代表者 代表取締役社長 上東 洋次郎
 (コード番号：6418 東証第1部)
 執行役員
 問い合わせ先 経営企画本部副本部長 山崎 統司
 電 話 (06) 6703-8400 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,900	700	700	450	15.18
今回修正予想(B)	13,400	170	10	△170	△5.74
増減額(B)－(A)	△1,500	△530	△690	△620	—
増減率(%)	△10.1	△75.7	△98.6	△137.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績	15,585	996	1,450	1,047	35.33

2020年3月期通期連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,500	1,000	1,000	700	23.62
今回修正予想(B)	27,500	600	450	150	5.06
増減額(B)－(A)	△1,000	△400	△550	△550	—
増減率(%)	△3.5	△40.0	△55.0	△78.6	—
(ご参考)前期実績	31,270	1,973	2,265	1,288	43.48

2. 修正の理由

欧州及び北米ゲーミング市場向けの紙幣識別機ユニット等の販売が、期初の予想より減速したことにより、売上高は減少する見通しです。また、利益面では、前述の減収要因に加え、本年9月1日から新たに米国の対中関税第4弾が適用されたことによる関税額の発生、並びに為替相場が円高に推移したことによる為替差損の計上などの影響により、各段階利益は減少する見通しであります。

なお、前回予想値の想定米ドルレートは、110円を前提としておりましたが、本業績予想値では、第2四半期末以降の想定米ドルレートを108円としており、対米ドルで1円円高に進んだ場合は約50百万円の為替差損(円安の場合は差益)が見込まれます。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。